



# 優秀賞 (水回り部門)

タイトル

キッチンボックスのある家

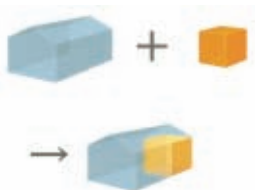
タイプ

持家一戸建

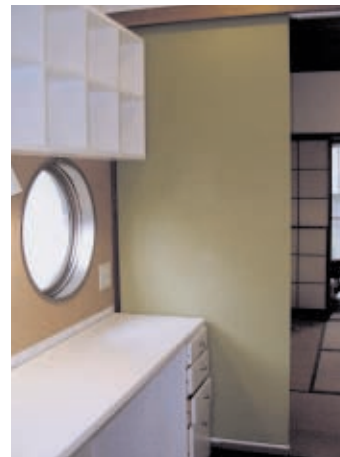
講評

雑然としがちな台所回りの空間、動線、収納法をがらりと変えていて爽快。KとDのインテリアに一体感があればなお良くなったのでは。照明が暗いので、ボックスにも透明感や穴、発光器具が欲しいところ。丸窓はチャーミング。

リフォーム前後の写真



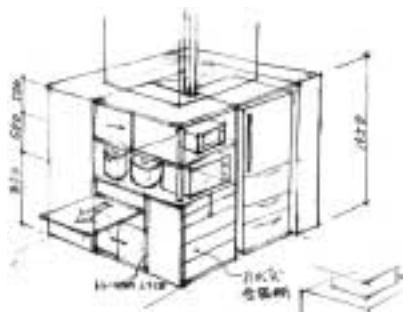
←リフォーム後  
キッチンボックスと名付けた  
収納システムを中心に回す  
キッチンダイニング。



リフォーム前→  
キッチンとダイニングは  
収納で分断されていた



リフォームの動機/設計・施工の工夫点/施主の感想 など  
築30年の実家に、娘夫婦の同居を機会にダイニングキッチン  
を改築。6帖のキッチン+6帖のダイニングは、完全閉鎖型で  
仕切り部分には食器棚とハッチによって使い勝手が悪く、収納  
も不便とのこと。1.8m角、高さ2mの立方体の"キッチンボッ  
クス"を提案しました。これは4面から利用できる収納ボックスで、  
冷蔵庫、家電品棚、食器棚、飾り棚の機能を備えているジャイ  
アントファニチュアです。白く塗られたボックスは、キッチンとダイ  
ニングの間に既存柱を避けて置かれて、2つの空間をセミオー  
プンでつなぎ、既存の柱も美しく見られる個性を表現しました。



特に配慮した住宅性能: 耐震補強

データ

所在地	東京都西東京市	構造/築後年数	在来木造 / 25年
該当工事面積	9 m <sup>2</sup>	該当部分工事費	100 万円
居住者構成	2 人 (大人 <15歳以上)	2 人 子供	1 人 ペット
設計者	(有) タウ設計工房 一級建築士事務所	担当者	小宮 成元
施工者	(有) with	担当者	小沢 裕昭

リフォーム前

リフォーム後



Before



After